旭川市立新町小学校

授業日:平成29年11月1日(水)5校時

学年	教科	主題名	資料名	児童	指導者
2年	道徳科	「あたたかい心で 親切に」 B 親切・思いやり	ももいろの木いちご (「モラルジレンマ資料 と授業展開」小学校)	2年1組23名	電 掛川怪番子

ねらいとする価値

指導に当たっては、切い人や高齢者、友 達など身近にいる人に広く目を向けて、温 かい心で接し、親切にすることの大切さこと が必要である。そして、身近にいる様を が必要である。そして、身近にいる様を が必との触れ合いの中で、相手のことな え、優しく接することができるようにとする ことがあられる。また、その結果とし入 相手の喜びを自分の喜びとして受け為がで られるようにし、具体的に親切な行為がで きるようにすることが大切である。

児童の実態

本学級の児童は、男女の仲も良く、休み時間には毎日学級遊びに取り組み、楽しく友達付き合いをすることができる。素直で明るい児童が多く、学級では日頃ケンカやトラブルもなく過ごしている。

友達が困っている時にはすぐに気付き,友達のために行動することができる。しかし一方で,自分が相手にしてあげたい気持ちを押しつけてしまい,時に相手の気持ちを蔑ろにして,嫌な気持ちにさせてしまうことがある。また,担任が間に入り相手の気持ちをくだいて伝えても,自分のしてあげたいことと,相手のして欲しいことが違う場合があるということに気付くことが難しい。

本時のねらい

身近にいる人に温かい心で接し、相手のことを親身になって考えようとする態度を養う。

本時の指導について

本時では、資料を通して、身近な人のために進んで行動することや、人の気持ちを察し、人の ために行動するということを考えさせ、自分だけではなく身近な人みんなが気持ちよく生活する ために大切なことを考えようとする態度を育てたい。

子供の深い学びの姿

身近な人のために進んで行動することや、人の気持ちを察し、人のために行動するということが、みんなが気持ちよく生活するために大切なことであることに気付く。

資料について

本教材は、母の誕生日プレゼントに、母が本当に喜ぶ物をプレゼントしたいと、苦労して木イチゴを取りに行くちょろりんを中心にストーリーが展開していく。低学年の児童にとって、身近な家族を喜ばせたいという気持ちはすぐに共感できるものであろう。ストーリーの流れも分かりやすく、2年生の児童にとっては、登場人物の心の動きを容易に捉え、ちょろりんが「木いちごをどうしたらよいか」と悩む気持ちに共感しやすいと考えた。ちょろりんと一緒に、どんな理由で、どんな選択をするか考えることで、親切な行動の裏には、相手を思う心があることを理解し、相手のことを考えて行動していこうとする態度を養いたいと考える。

本時の学習

(1)ねらい

身近にいる人に温かい心で接し、相手のことを親身になって考えようとする態度を養う。

(2)展 開

*一単位時間レベルB-②【対話重視】

(2) 展	<u> </u>		
	教師の働きかけ(〇主な発問)	予想される児童の心の動き	・指導上の留意点◆評価の観点*思考を活性させるアクティブ化ポイント
道徳的価値への動機付け5分	1 アンケート結果から問題を 明確にする。 ○ブランコに乗ろうと順番待ち をしていました。やっと自分 の番が来て,ブランコをこぎ 始めたところ,小さい子が「乗 らせてほしい。」と言ってきま した。こんな時,どうします か。 2 課題を提示する。	 ・授業の始まりに、日直の友達に 挨拶をしてと、声を掛けた。 ・困っている友達を助けてあげた。 ・何かわからないときに教えた。 ・かわってあげる。 ・ちょっと待ってと言う。少しだけ 乗って、かわってあげる。 ・ずっと待っていたし、やっと自分 の番になったから、まずは自分 が楽しみたい。 	・アンケート結果 を一覧表などに 提示する
		て, どういうことかなぁ?	
道徳的価値の把握・追求15分	 3 教材「ももいろの木いちご」を読む。 ○とかげのちょろりんは、お母さんの誕生日プレゼントに悩んでいたけれど、何にしようと考えたのでしょう。 ○珍しい木いちごを探しにいって体験したことは何でしたか。 ○こで困ったことは何でしたか。 ○あなたなら、どうしますか。(中心発問) 	・子どものころに食べた桃色の木いちご・1日に1粒しか実をつけない珍しい木いちごはなかなか見当・桃色の木いちごはなかなか見当たっと見つからなりで帰ろうとするといいるおばあらとなって帰ろうとなっているがあるとない。・1日に1粒しかまるとわかった。・1日に1粒しかまを探していちごを探してかまばあのかが選べない。 【解決策】・お母のために、ここまで頑張って探しに来た。	・ 登係、

道徳的価値の把握・追求15分	○たくさんの解決策の中で,みんなにとって,よりよい方法はどれだろう。グループで話し合おう。○色々な解決策があるけれど,同じことは何かな。	 ・お母さんとあばあさんの木いちごが食べたいと思う気持ちは同じだ。 →母にプレゼントして、後日、おばあさんのために見つける。(もしくは、反対の策) ・お母さんも、「ちょろりんのその優しい心が大好きなの。だから何もいらないわ。ちょろりんが誰にでも優しかったらいいらないらないおらいらないなおばあさんに木いちごをあげる。 ・相手のことを考えている。 ・行動に移す。 	* 解決策は、当事者 のみんなにとって よいものであるか を考えさせる。
道徳的価値の理解の深化15分	4 問題解決の応用 ・別なシチュエーションで考える。 「1 年生が、牛乳パックを開けなくて困っている。」 ○このような時、どうしたらいいのかな。隣と相談して、いい方法を見つけよう。(重要発問) ○どんな方法がいいか、発表する。	・代わりに開いてあげる。・「こうやってやるんだよ。」とやり方を教える。・「手伝おうか?」と声を掛ける。など	・理解動大せ 手量 しまるとこれをとえ をとえ をとえ を を ままれ しままる。 で は と よい ままる。 (発言・記述)
実践への意欲化10分	5 これからの自分に生かす。○授業で考えた内容をまとめ、感想を述べ合う。	・相手のことを考えて、親切にすることが大切だと思った。・親切にしていたつもりだったけれど、相手の気持ちを聞いたりしていなかった。	・道徳ノートに記 入させる。



